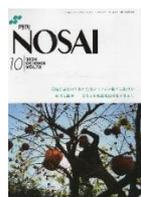


●「月刊 NOSAI」(全国農業共済協会)8・9月号「食の農で高める地域の力」 連載39号回
新潟県・佐渡島での酒造りを、島の環境・文化を一体化して広く国内外に発信してきたことで知られるのが「真野鶴」発売元で知られる尾畑酒造株式会社(平島健代表取締役社長)。海外との交流も盛んで、もっとも注目されている。活動で注目されているのが廃校になった学校を再生させた「学校蔵」だ。日本の酒造りを学びたいと海外から人が訪れる。学校は国際交流と学びの場として蘇った。



👉全国農業共済協会 HP

これまでの掲載記事一覧 <https://www.kanamaru-jp.com/yotei/yoteidetail.php?&no=1257&a=2024>

★●Women's Action Network(上野千鶴子理事長)農業と食の現場で活躍する女性を紹介。

「金丸弘美のニッポンはおいしい！」

「自然の中でご飯を食べ、学ぶ。本物の食を子どもたちに届けたい」 葛飾区西亀有「こども園すなはら」連載28



👉バックナンバー

<https://www.kanamaru-jp.com/yotei/yoteidetail.php?&no=768&a=2017>

●スペシャル連載「私が食ジャーナリストになった理由(わけ)」(全4回)

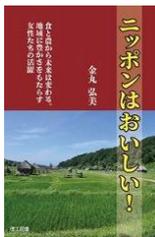


●連載が本になりました！ 農業と食から持続社会に繋ぐ素敵な女性たちが登場します。

「ニッポンはおいしい！」=食と農から未来は変わる。地域に豊かさをもたらす女性たちの活躍=

金丸弘美著 理工図書出版 四六判 216頁 2,090円(税込) <https://x.gd/gunBM>

★上野千鶴子さん推薦(社会学者・東大名誉教授)「女性がつくる日本農業の未来！」★



●住生活産業総合情報誌「ハウジングトリビューン」「田舎再生の現場から」連載61

2024年18号 10月11日号 <https://htonline.sohjusha.co.jp/>

香川県高松市の高松港から約4キロ。フェリーで20分。瀬戸内海に浮かぶ島のひとつに女木島(めぎじま)がある。島の大きさは2.62 km²。島の人口は168人世帯数107世帯。島の空き家を再生し宿泊施設「女木島 オーテの宿 鬼ヶ島ステイ」をオープンさせたのは、三島光春(73)、恵子(71)夫妻。



👉バックナンバー

<https://htonline.sohjusha.co.jp/rensai/kanemaru-report/>

●住生活産業総合情報誌「ハウジングトリビューン」<https://htonline.sohjusha.co.jp/>

2024年・9・27 No.17号(発売9月13日) vol.689 ■対談 特集

「イタリアのアグリツーリズムに学ぶ都市と農村の交流人口拡大、地域経済活性化策」

食環境ジャーナリスト金丸弘美氏×食・農文化コミュニケーション岡崎啓子氏

農泊観光、農泊の先進地がEU。特にイタリアの「アグリツーリズム」は、近年大きく進化しており、海外旅行者の獲得、農作物輸出の競争力強化、地域経済の活性化につながっている。日本の農村観光、農泊がさらに発展していくためには何が必要か。対談形式で活動の詳細を紹介。



●食の雑誌「味の味」(アイディア)「地食がおもしろい」を連載中。105回目

2024年10月号「鹿児島島の南端・指宿(いぶすき)からオクラ・サツマイモ」



👉(「味の味」はHP掲載のお店に置いてあります) <http://www.ajinoaji.com/>

●メルマガ連載「エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」<https://enekei.jp/>
 農業・食・エネルギーの現場から ～総合マネジメントによる地域づくり～ 連載中
 「地域連携の有機農農業を創造・山梨県北杜市(株)ファーマン・井上農場」井上能孝さん。野菜の栽培
 と加工商品開発や販売を行うと同時に、地域の農家も連携し販売体制を合同で築くなどもされている。さ
 らに、学校や企業の農業体験、グランピングを使った農村観光の受け入れ、地域の福祉施設との農福連
 携、廃校を活用したボルダリングや宿泊施設の運営など、地域の人・モノ・コトを上手く組み合わせ町全
 体の経済と持続社会に繋がる事業となっている。



●～有機農業と生物多様性の里山再生に取り組む石坂産業脱炭素への取組 その1、その2～
 遊休農地を落ち葉堆肥の有機農業で復活

●埼玉県入間郡三芳町上富に、農業法人「株石坂オーガニックファーム」を立ちあげ約2・3haで有
 機農業を行いながら、江戸期に生まれた東京ドーム4.5個分の広さの里山を地権者と三芳町とと
 もに連携し「三富今昔村」(さんとめこんじゃくむら)として名付けた環境教育フィールドとして再生させた
 のは、産業廃棄物中間処理業を運営する石坂産業株式会社(石坂典子代表取締役)だ
 続きは<<https://enekei.jp/mmc/mailmagavol236-4.html>>コチラからお読みください。



続きは QR コードから



その2

<https://x.gd/75Zny> (これまでのバックナンバー)

●食の雑誌「味の味」(アイディア)エッセイ「地食がおもしろい」を隔月で連載中です。
 おかげさまで連載は2024年8月号で104回を迎えました。<http://www.ajinoaji.com/>
 「有機小麦栽培と天然酵母から生まれる「三富今昔村」のパンたち」2024年6月号(左)
 「環境と旬と循環を食から学ぶ埼玉県「三富今昔村」」2023年6月号(右)



<https://www.kanamaru-jp.com/rensai/index.php> (これまでのバックナンバー)

●2024年5月号6月号で連続特集。

岡崎啓子氏に聞く アグリツーリズムと再生エネルギー～イタリアからの現地レポート①②～



●2024年3月、4月号は、NPO法人上田市民エネルギー特集。長野県上田市から広がった市民・地域事業者・市・県連携の未来を見据えた脱炭素の取り組み

「脱炭素先行地域」長野県上田市

上田市は環境省の「脱炭素先行地域」に選定されている。テーマは『ローカル鉄道と市民がともに支え合う「ゼロカーボン×交通まちづくり」だ。



👉パート1



👉パート2

●<https://www.kanamaru-jp.com/yotei/yoteidetail.php?&no=1219&a=2023>

●2023年7月号「練馬区の都市農業と若者の新規就農と起業支援」 8月号「道の駅 ましこ」



9月号「福岡県久留米市のZEB」 10月号千葉県「グリーンアース」

11月号「東急リゾートタウン蓼科」



都市農業を牽引する東京都練馬区の農業体験農園 (その1 その2 その3)



●YouTube配信●

名豊塾 特別講演会「地域を元気に 里山の暮らしから観光・経済につなぐ新たな連携」

<https://www.youtube.com/watch?v=-PNJgv5pfU0&t=128s>



講師:金丸弘美 食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー

制作・著作:び〜ぶる放送 (佐賀県唐津市鎮西町「名豊塾」講義より)

●大阪公立大学都市経営研究科 公開シンポジウム(前編)(後編) YouTube配信

「自然な農と食を活かした地域活性化」 <https://youtu.be/VTW-NfgQBQg>



(前編) 東京都練馬区から広がる都市農業、長崎県大村市の新規就農と新たな農村観光

(後編) 富山県立山町の坂口創作さんの新規就農、福井県若狭町の就農起業支援事業他。

●「食育で育む未来の町づくり」YouTube配信 <https://www.youtube.com/watch?v=-ztpU9TX8J8>

(制作: 京都府宇治市&「うーちゃんねる」) 写真は高知県中土佐町と豊岡市のコウノトリの稲作



●「地方創生」を支援する国の人材派遣事業。

国の人材派遣事業:金丸弘美は登録されており、国の制度で現地にうかがうことができます。

●総務省の人材派遣事業 総務省地域力創造アドバイザー 地方創生のサポート。

<https://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/>

●内閣官房の伝道師派遣制度 内閣官房地域活性化伝道師 地方創生のサポート。

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/dendoushi/index.html>



👉 総務省



👉 内閣府



👉 金丸弘美ホームページ

●金丸弘美 ホームページ <https://www.kanamaru-jp.com/home/index.php>

●金丸弘美の好評の地域創りの本●

『田舎力～ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』金丸弘美著（NHK出版生活人新書）

上野千鶴子さん、小山薫堂さん推薦。15刷り。有川ひろさん『県庁おもてなし課』、「毎日新聞」

「朝日新聞」他65媒体で紹介。<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=158&a=1>

『実践！ 田舎力 小さくても経済が回る5つの方法』(NHK 新書)

「週刊東洋経済」「月刊ガバナンス」「旅の手帖」「週刊ダイヤモンド」など16媒体で紹介。

<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=191&a=1>

「ゆらしい島のスローライフ」 金丸弘美著(学研)電子書籍版でも絶賛発売中。

絵:唐仁原教久、写真:阿部雄介 小泉武夫氏推薦(作家・発酵学者)

<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=1118&a=1>



●金丸弘美の著作。地域活動の実践例を紹介。



『創造的な食育ワークショップ』(岩波書店)

『えんや 写真集・唐津くんち』写真:英伸三(家の光協会=JA 出版部)

『えんや! 曳山が見た唐津』(無明舎出版) 『地域ブランドを引き出す力』(合同出版)

『美味しい田舎のつくりかた:地域の味が、人とつなぎ、地域を耕す』(学芸出版)



『地域の食をブランドにする! 食のテキストをつくらう』(岩波ブックレット)

『タカラは足元にあり!』(合同出版) 『給食で育つ賢い子ども』(木楽舎)

『里山産業論』(角川書店) 『幸せな田舎のつくりかた』(学芸出版)

『田舎の力が 未来をつくる!ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革』(合同出版)



👉金丸弘美書籍一覧 <https://www.kanamaru-jp.com/book/index.php>